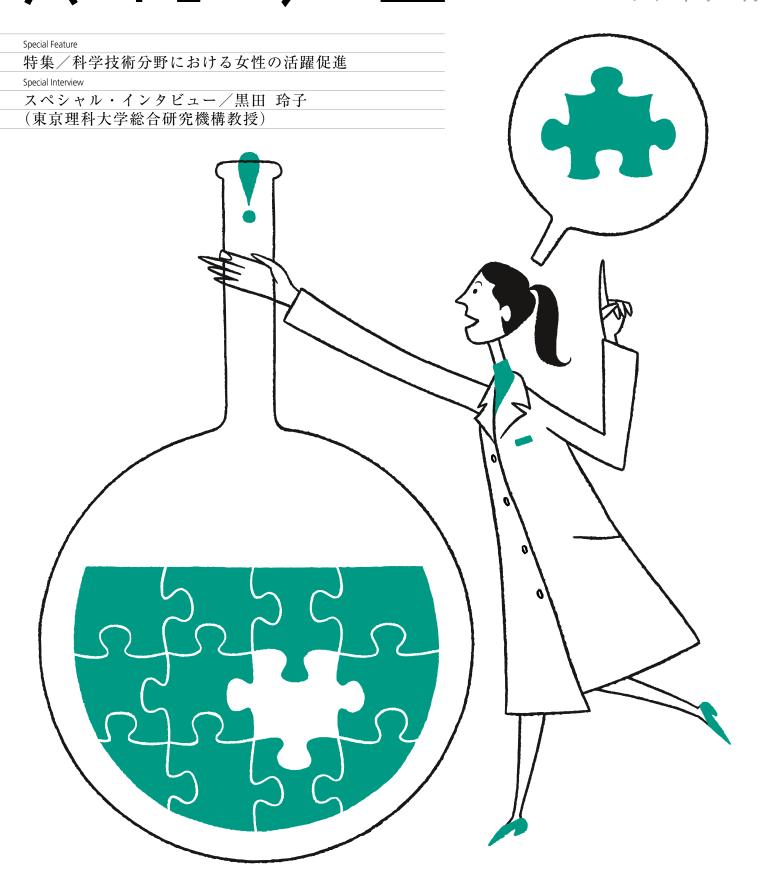
内 閣 府



主な予定

	Schedule
(平成25年)	
12月4日~10日	人権週間(主唱:法務省、全国人権擁護委員連合会)
12月16日	シンポジウム「女性はもっと活躍できる!〜WEPsが変える仕事の未来」(東京都港区)
(平成26年)	
1月11日	シンポジウム「女子中高生の医理系進路選択支援~医理系の研究って、すっ ごくおもしろい!」(奈良県奈良市)
1月22日	シンポジウム「企業×女性起業家×学生の出会いで社会を活性化!「ビジネスにも運命の赤い糸ってあるんです」」(東京都渋谷区)
2月2日	シンポジウム「理系の仕事~いつか未来を創るあなたへ~」(福島県福島市)
2月12日	シンポジウム「女性技術者登用による産業競争力強化を目指して」(東京都 千代田区)

巻頭言 共同参画に寄せて

Foreword

男女共同参画 会議議員 株式会社クララ オンライン代表 取締役社長 家本 賢太郎



lemoto Kentaro

スポーツの男女共同参画の進展に注目している。男女共同参画白書においては、生涯にわたるスポーツ活動の推進だけでなく、女性トップアスリートの出産・育児後の復帰に関する活躍支援など、スポーツ領域での取り組みが示されている。また、我が国における女性スポーツを取り巻く関心も、サッカー・野球を含めて大きく変化している。

しかし、スポーツの現場には未だ固定的な男女観が残されているという指摘も依然として存在しているほか、「女性アスリート視点」を積極的に取り入れるために不可欠な競技団体の理事等の比率などをみても、我が国におけるスポーツ分野の男女共同参画の取り組みは、緒に就いたばかりである。

また、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京開催が決定したことは、具体的なアクションに移るまでの時間から逆算しても、我が国全体で本腰を入れなければならないタイミングが迫っている。

取り残されているテーマの一つとならないよう、スポーツにおける男女共同参画の推進にも貢献していきたい。

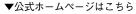
Number 63

目次

		- · ·		
		Contents		
特集		科学技術分野における 女性の活躍促進		
スペシャル・インタビュー		「迷ったら理系に!」研究は本当にやりがいが ある仕事ですから/ 黒田 玲子 東京理科大学総合研究機構教授		
行政施策トピックス1		男女共同参画推進連携会議	Page 08	
行政施策トピックス2		男女共同参画社会の形成の促進に関する施策についての苦情内容等及び 男女共同参画に関する人権侵害事案の被害者の救済制度等について		
行政施策トピックス3		世界経済フォーラムが「ジェンダー・ギャップ指数2013」を公表	Page 12	
連載 その1		男女共同参画の視点からの防災・復興の取組事例⑤/ 男女共同参画センターを活かした広域避難者のつながりづくり/(埼玉県)	Page 13	
	その2	男女共同参画は、日本の希望® 増えないフルタイム共働き、減り続ける小遣い/ 山田 昌弘 (中央大学教授)	Page 14	
ニュース&インフォメーション		「男女共同参画フォーラム in さいたま」開催報告 他	Page 15	
男女共同参画センターだより		福岡市男女共同参画推進センター		











科学技術分野における 女性の活躍促進

内閣府男女共同参画局推進課

政府の取組~はじめに

安倍内閣では、「女性の活躍」を成長戦略の中核として位置づけ、安倍総理からも、経済界への要請(本年4月)、国連総会での演説(9月)など、様々な場面でアピールされており、今までにないほど国内外から注目を集めています。



その中で、女性の活躍が進んでいない分野の一つとして、近年、取組が加速されているのが、科学技術分野です。

科学技術分野は、第3次男女共同 参画基本計画(平成22年12月17日閣 議決定)で重点分野として新設され ました。「日本再興戦略」(本年6月 14日閣議決定)や若者・女性活躍推 進フォーラムの提言においても、理 系分野を目指す女子中高生に対する 支援や、女性研究者の出産・子育て 等と研究を両立するための環境整備 支援が重要施策として盛り込まれて います。理系の女性(女子)を表す 「リケジョ」という言葉も、最近聞 かれるようになりました。

そこで、今回は、「科学技術分野における女性の活躍促進」と題して、国、企業、団体等において、科学技術分野で女性が活躍するために行われている取組や、科学技術分野における女性の活躍状況を特集します。

科学技術イノベーション総合戦略

総合科学技術会議では、政策の全体像として、「科学技術イノベーション総合戦略」を6月に策定しました。イノベーションを生み出すには、女性研究者を含む多様な人材が互いに切磋琢磨し合うことにより生まれる大胆な発想が必要です。そのため、自然科学系全体における大学や公的研究機関での女性研究者の採用割合を、2016年までに30%にすることを目標としており、必要な施策を講じていく予定です。

文部科学省の取組

文部科学省では、「第4期科学技 術基本計画」(平成23年8月23日閣議 決定)における自然科学系全体の女 性研究者の採用割合を30%とする目 標の達成を目指し、これまでも様々 な取組を行ってきました。加えて、 平成26年度概算要求においては、 「女性研究者研究活動支援事業」に おいて、既に女性研究者の研究と出 産・育児等との両立支援のための環 境整備に取り組んでいる大学等を中 心に、複数の大学等が連携して、女 性研究者の研究力向上を図る取組を 実施する「コンソーシアム型」を新 設することとしています。さらに、 優秀な研究者が出産・子育てから円 滑に研究現場に復帰できるよう研究 奨励金を支給する「特別研究員事業

(RPD)」についても、採用人数の拡充等を図ることとしています。

他にも、全国の自然科学分野の大学学部生等が

自主研究を発表し競い合う「サイエンス・インカレ」を開催しており、 第2回大会では、第1回大会に比べて 女子学生の受賞者数が増加しています。

「リコチャレ」はじめます!

男女共同参画局では、理工系分野に興味がある女子高校生・学生たちが、将来の自分をイメージして進路選択できるよう、「チャレンジ・キャンペーン」というHPで、理工系分野が充実している大学・企業の取組や、理工系分野で活躍する女性を紹介しています。

今年度は「理工チャレンジ(略称:リコチャレ)」としてホームページをリニューアルする予定です。新タイトルのロゴデザインは、たくさんの応募作品の中から、現役女子大学生である辻本真友さんの作品に決定しました。これを一つの芽として、今後の「リコチャレ」をより豊かなものにしていきたいと思います。



「チャレンジ・キャンペーン」 サイトはこちら http://www.gender.go.jp/c-challenge/index.html



新タイトルのロゴデザイン

「迷ったら理系に!」研究は本当に やりがいがある仕事ですから



黒田 玲子 東京理科大学総合研究機構教授

くろだ・れいこ/ お茶の水女子大学理学部化学科卒業、東京大学理学系研究科化学専門 課程博士課程修了。東京大学教授を経て、平成24年より現職。専門は 化学・生物。平成5年に猿橋賞、平成25年にロレアル-ユネスコ女性科 学賞を受賞。総合科学技術会議議員、国際科学会議(ICSU)副会長等 の公職を歴任し、現在東京大学名誉教授、日本学術会議会員。スエー デン王立科学アカデミー会員。

一この度は、国連科学諮問委員会メンバーへの選出おめでとうございます。

○黒田 なぜ私なのだろうと私が聞 きたいくらい。国際科学会議(ICSU) の副会長を3年間務めたり、海外の 学術連合の会議に参加したりしてい たのを見ていてくれた人がいたのか な。20数名のうち日本人は1名だけ。 抱負は、メンバーとして信頼が得ら れる答申を出したいということ。国 連は利害関係が対立する加盟国が在 する組織だからこそ、広く長い視野 を持って、think globally, act locally であることが大切。国連が関わる多 数の問題に科学的な裏付けをし、優 先順位を付け、科学と政策のリンク をしていくのが仕事。自分の分野や 国の利益ではなく、地球全体・次の 世代を考えて、信頼感を築いていく ものと考えています。

一若いときから海外でお仕事されていらっしゃいますよね。

○黒田 日本にいてもポストがない とわかっていたから、ポスドクの段 階で海外に出ました。

行って、視野が広がって本当によかった。当たり前がそうじゃないってことが日本にいたらなかなかわからないけれど、相手のことを思いやって尊重しないとやっていけないということがよくわかりました。日本

は女性研究者が少ないと言われているけれど日本の女性はなかなか優秀。問題があるとしたら、周りがまだ認めていないことかな。近頃はだいぶ認めているけれど、出産育児介護すべて女性というのはヘンで、男性もやらないといけないし、社会が温かくサポートしていくことが必要。研究というのは本当にやりがいがある仕事ですから。

一理系に進んだきっかけは?

○黒田 文系の方が得意なくらいだったから高校3年生までずっと迷っていたけれど、理系は大学に行かないとできないかなと思って進みました。元素のちょっとした組み合わせで物質の性質が大きく変わり、そしてこの世界ができ上がっているのが面白いと思って、大学に入るときには化学を選択していました。化学に関味を持ったきっかけがあるとしたら、小学校6年生で入った化学クラブかもしれない。白衣を着て、遊びながら実験をしたりして。

逆はできるけれど、文系を選んでからの理系への転向は難しいから、 迷ったら理系に行ったらというのが 私からのアドバイスです。

研究は、生物と化学を両方、JST の助成金などを受けながら、ポスドクを雇ったり若い人たちとも一緒にやってきました。大学のお金だけで

はとても研究は続けられなくて、国 の補助は必須です。自分も総合科学 技術会議議員や文科省の中央教育審 議会委員として意見を出して改善に 貢献してきたけれど、国の制度はか なり良くなってきています。助成制 度のあり方も、女性のライフイベン トを考慮したものになってきたり、 結構よく取り組んでいます。

一後進の女性たちへ、研究やリーダーシップを実践していくためのアドバイスをお願いします。

○黒田 科学技術分野は特にそうだけれど、他の分野でも3年も現場を離れたら感覚がずれて女性がリーダーになんかなれないのではと、心配。202030達成のためにも、今のIT技術にあった支援の仕方や、男性も休みをとったりするなどで女性が出産育児期にも現場から完全には離れないですむようにしていくことが大事。

若い女性達に伝えたいのは、とにかく頑張ること。人のせいにしてだけいたらおしまいで、本当にやりたいことがあって、そのためにどうするということを自分で考えて相談すれば必ず手をさしのべてもらえます。早いか遅いかは人によって違うけれど、必ず道は開けますから。

どんなことも額に汗して努力しないと成果は得られません。ラクしてみんなに感謝されたり、自分で達成感が得られる仕事なんてないと思います。努力したときの喜びというのは子どもの時から持っているものでそれを失わせないように、まずは営めなきゃね。一緒に研究している者い人が迷ったり失敗して落ち込んでいるときも、本人が一番へこんでいるはずだから、きつく言わないようにしています。まず誉める!

ひらめきは生き生きした心に宿る ものですから。 Special Feature

理工系分野への進路選択支援

科学技術分野での女性の活躍促進の観点からは、女子学生・生徒の理工系分野への進路選択を支援することや、研究者としての育成が非常に重要です。理工系分野への興味を引き出す各種の取組をご紹介します。

女子中高生の理系進路選択 支援プログラム

独立行政法人科学技術振興機構は、女子中高生の理系進路選択支援 プログラムを実施し、科学技術に関 する興味・関心を高め、理系分野へ の進学意欲・進路意識の向上を図る



書籍紹介

「なぜ理系に進む女性は 少ないのか?」(西村書店) S.J.セシ/W.M.ウィリアムス編

科学者である大隅典子東北大教授が翻訳された本書は、タイトルの問に対して論じた15の論文から構成されています。認知能力における性差が決定的なものであるか、それが女性の理系分野への進出を妨げるのか、あるいはその他の社会的要因が与える影響が大きいのか等の観点に対し、科学的根拠を豊富に示して多様な分析が展開されており、問題を知り、偏見を取り除くための第一歩として興味深い内容となっています。

ために、科学技術分野で活躍する女 性研究者・技術者、大学生等との交 流機会などを提供する大学等による 取組を支援しています。

採択事例: 女子ワイルドライフ・サイエンティスト養成講座

近年、動物(特にペットではな い野生動物)に興味を持ち、大学 で動物を対象とした研究をしてみ たいとか、動物に関わる職業に就 きたいという学生が増えています。 しかし、進路選択の段階では学部 学科や職業に関する情報が少ない のが現状です。本講座では、京都 大学野生動物研究センターが京都 市動物園生き物・学び・研究セン ターと協力し、野生動物を研究し ている若手研究者や、動物園や水 族館で実際に動物と関わる仕事を している飼育員や獣医を講師とし て、講演会や実習を行っておりま す。本講座のコンセプトは、「本物 に触れる」こと。本物の研究者、 飼育員や獣医と直に会って仕事の 話を聞く機会を提供し、自身が中 学高校の頃にどんなことを考え、 どんな選択をして今日に至るのか を率直に語ってもらっています。 小会場での開催として、直に話を できる時間も多く取り、毎回、参 加者の活発な質問が飛んでいます。 本年度中にさらに実習が1回と講 演会が2回企画されています。



ロレアルーユネスコ女性科学者 日本奨励賞:日本ロレアル

日本ロレアルは日本ユネスコ国内 委員会との協力のもと、平成17年に 「ロレアルーユネスコ女性科学者 日 本奨励賞」を創設しました。生命・ 物質科学分野の博士後期課程に進学 予定又は在籍する若手女性科学者 が、研究活動を継続できるよう奨励 することを目的としており、生命・ 物質科学から各2名・計4名を選考し、 奨学金100万円を贈呈しています。 これまでの32名の受賞者は、共同研 究の機会、海外留学、希望の職に就 く、結婚、出産などキャリアを切り 拓き、ロールモデルとして活躍して います。平成22年に新設した「ロレ アルーユネスコ女性科学者 日本奨 励賞―特別賞」とともに、11月中旬 から2月末まで応募を開始し(http://www.nihon-loreal.jp/corp/)、授賞式



平成25年度授賞式の様子

にて受賞者を発表しています。また、 理系女子を応援する「リケジョの日」 を制定し、次世代に科学の楽しさや キャリアの無限の可能性について訴 求する啓発活動を推進しています。

大学における取組:東北大学

今年度は東北大学に日本で初めての女子学生が誕生してから100年目に当たります。平成21年度から文部科学省科学技術振興調整費(現:科学技術人材育成費補助金)を利用し理・工・農学系女性教員を対象とした「杜の都ジャンプアップ事業 for 2013」を行っています。この事業では優れた女性教員を積極的に採用し、その能力と職階のジャンプアップを図るため、世界トップリーダー

として必要な幅広い学問領域を見渡 せる「自立し、共生し、未来を育み、 サイエンスを拓く杜の都女性研究 者 | を育成することを目的とし、① 世界トップクラス研究リーダー養成 (複数メンター制、セミナー)②新 ネットワーク創生(人的・技術的ネ ットワーク) ③研究スタイル確立支 援(ワーク・ライフ・バランス支援、 男女共同参画意識の啓発・醸成)の 3プログラムを実施しています。これ まで、理・工・農学における女性教 員(教授、准教授、講師、助教)の 総数は事業開始前の平成20年度の値 から49%増加しており、昇進し上位 職へ着任した女性研究者も複数名出 ています。また受賞や外部資金獲得 などの件数が増加し、目に見える成 果として上がっています。働く環境を整える支援としてハードリング支援事業にも全学で取り組んでいます。ハードリング支援事業、学内病後児室、学内保育園を利用している女性研究者からは、制度の整備が精神的な大きな支えになり、キャリアアップにつながるとの評価を得ているところです。



東北大学女子学生入学百周年記念のロゴマーク

3542

女性研究者・技術者の声

①周囲の大人からの影響が進路選択に影響しやすい?:

小中高時代の進路選択に影響を与えたものを研究者らに 尋ねたアンケート結果によると「幼少時に自然にわいた 興味」「書籍やテレビ番組」が男女ともに突出していまし たが、3位以降は「科目の成績」「授業内容」「先生との交 流」「家族、親戚からの影響」が続き、いずれの項目も女 性の選択率が高くなっています。

②ロールモデルの存在は大きい?:

現在の職を選んだ理由を年代・性別で分析すると「その職業で活躍する身近な知人にあこがれた」という回答が20代女性で突出しており、女性研究者、技術者が増えれば相乗効果的に益々女性が増えていくことが予想されるとの分析が加えられていました。

(「第三回科学技術系専門職の男女共同参画実態調査」 22、23頁、男女共同参画学協会連絡会(2013) http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/)



理系に興味がある 女子のための 応援サービスRikejo

理系分野に進んだ社会人など約400名のボランティアの先輩と講談社が連携した、理系女子支援サービスが展開されています。会員には、先輩リケジョの活躍や仕事など役立つ情報が満載のリケジョマガジンが届けられ、webサイトでは理系の進路を選んだ大学生や社会人が、進路の悩みや質問に丁寧に答えてくれるQ&Aサービスがありますので理系に興味がある皆様はぜひのぞいてみてください。

(http://www.rikejo.jp/)

Special Feature

リケジョの活躍

女性研究者数及び研究者に占める女性割合の推移

研究者に占める女性の割合は、20年間で約2倍となりましたが、いまだ14.0%と低く留まっています。

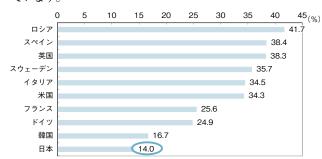


(備考) 1. 総務省「科学技術研究調査報告」より作成。

- 2. 各年3月31日現在。
- 3. 太字の値は、研究者に占める女性の割合。

諸外国の研究者に占める女性割合

諸外国と比べても、日本は研究者に占める女性の割合が低くなっています。



(備考) 1. EU諸国等の値は、EU [Eurostat] より作成。推定値、暫定値を含む。 2. 日本の数値は、総務省「平成22年科学技術研究調査報告」に基づく (2010 (平成22) 年3月31日現在)。

3. 米国の数値は、国立科学財団 (NSF) の [Science and Engineering Indicators 2006] に基づく。

理工系の女性の活躍は、大学・研究所等の研究機関に限られません。 民間企業をはじめとする様々な組織で、あるいは科学技術を生かした起業をして活躍しているケースも多く見られます。また、国家公務員の職場でも、科学技術分野の専門性を生かした様々な業務があることを御存知でしょうか。

企業におけるリケジョの活躍: 日産自動車株式会社

日産はダイバーシティを経営戦略 として位置付け、トップの強いリー ダーシップのもと、ボトムアップと の両輪で推進しています。

自動車業界は男性のイメージが強いですが、クルマを購入する際の意思決定の3分の2は実は女性が重要な役割を持っています。これは日本のみならず世界各国でも同様で、女性のお客様に支持されなければならな



いと考えています。

ある車種の商品企画責任者に女性が就き、女性への魅力創出をスタディするチームによって、後席に設置したチャイルドシートへの子供の乗降や荷物の出し入れがしやすいように後席ドアの開閉角度が検討され、設計に織り込まれました。

工場の生産現場では、実際の製造 ラインに入って活躍している女性技 能員の提案を反映しさまざまな年齢 層や男女の区別なく誰にでも作業で きる製造ラインへの改善を続けてい ます。

平成17年には、育児と両立する 従業員の活躍をサポートすることを 目的として、多くの女性エンジニア



が勤務する日産テクニカルセンター に社内託児所「まーちらんど」を設立し、現在計3か所の託児所があります。

同16年以降入社の技術系新卒採用は15%の女性比率を指針とし、同25年は20%でした。活躍する若い世代の女性エンジニアが増えつつありますが、組織の大きい開発部門や生産部門ではまだまだ身近に女性のロールモデルは少ないのが現状で、昨年より開発拠点女性従業員のネットワーク活動がスタートしました。自ら企画し女性ロールモデルのヒアリングをし、両立やキャリアアップについて学びを得ています。

人事院HP-女性の皆さんへー

(女性向け試験ガイド、女性国家公務員 の活躍事例集など)

http://www.jinji.go.jp/saiyo/jyosei/toppage. htm



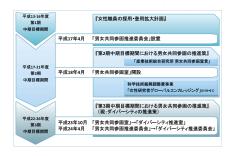
独法におけるリケジョの活躍

1. 独立行政法人産業技術総合研究 所(産総研)

産総研は、正職員約3,000名を中心に、国内外の多様な人材を集める国内最大級の公的研究機関です。

個人の能力を最大限発揮できる環境 実現を目指して:

産総研におけるダイバーシティ推 進体制の変遷を下図に示しました。



平成19年度より3年間、文部科学省 科学技術振興調整費「女性研究者支 援モデル育成」事業により、女性研 究者が研究を続けやすい環境の整 備、休暇等制度の拡充を行いました。

現在までに、裁量労働制などの柔軟な勤務形態、小学校就学前までの育児短時間勤務制度を導入しています。所内の一時預かり施設や民間に見所・ベビーシッターなどのサービス提供により、突発的なニーズ後・可定しています。また、産前産をやすでは代替職員の配置や早には代替職員の配置や早には代替職員の配置や早には代替職員の配置や早には代替職員の配置や早には代替職員の配置や中には大事を大力であるとの他、キャリア形成支援とアウンセリングなどを実施しています。 女性研究者の活躍:所内の統計によると女性の外部資金獲得率及び外部資金獲得率及び外部発表実績は所内平均を上回ります。 注目される活動としては、文化功労 賞受賞、経済産業省の審議会会長就 任、内閣府男女共同参画推進連携会 議議員就任などが挙げられます。

2. 独立行政法人宇宙航空研究開発 機構(JAXA)

JAXAでは、本年10月より、文部科学省科学技術人材育成費補助金による女性研究者研究活動支援事業を開始しています。理事長のリーダーシップのもと、男女共同参画推進室を設置し、「人材育成委員会」で策定する基本方針に基づき、男女共同参画の取組をPDCAサイクルにより推進します。

JAXAのミッションは、最先端か つ幅広い分野を対象としています。 また、事業所は業種・目的別に全国 に広く展開しています。このため、 事業所ごとに選任された代表を中心 に職員ニーズをきめ細かく把握し、 (1) 安心して出産・子育て・介護を 行える環境の整備、(2) 働き方の見 直しによるワーク・ライフ・バラン スの実現、(3) 研究者の研究開発 力・組織マネジメント力の向上と能 力発揮、(4) 女性研究者の採用・登 用を拡大、意識啓発、(5) 女性ロー ルモデルの見える化と女子学生・院 生との交流機会の拡大、(6) 内外連 携の推進、相互協力ネットワークの



国際宇宙ステーション 「きぼう」の運用管制

形成などの支援を行います。

ポジティブ・アクションのための 数値目標として、(1) 在職比率を12 %以上、(2) 採用比率を18%以上、 (3) 教授職相当者の採用、(4) 子育 て・介護による離職率ゼロを目指し ています。また、研究開発力の向上 として、女性研究者全体で、競争的 研究資金獲得額を2倍以上、論文投 稿(学会発表、特許件数等)を1.5倍 以上を達成する予定です。

外部有識者によるアドバイザリー 委員会を開催し、PDCAサイクルで 進捗のフォローアップを行い、先進 的な支援モデルの構築を目指します。

理系国家公務員も活躍しています

国家公務員採用試験には、例えば総合職試験では、工学、数理科学・物理・地球科学、化学・生物・薬学、農業科学・水産、農業農村工学、森林・自然環境の技術系区分を設けています。各省庁は、事務系区分と同じく、技術系区分についても、積極的に女性を採用しています。採用後は、各々の専門知識を活かし、本府省における企画立案業務のほか、各府省に属する研究所における研究業務などに従事しており、活躍の場は多岐に渡っています。



農業水利施設においての業務の様子 (農業農村工学区分(農林水産省九州農政局))

TOPICS

Part 1

男女共同参画推進連携会議

内閣府男女共同参画局総務課

男女共同参画推進連携会議(以下「連携会議」)は、男女共同参画社会づくりに関し、広く各界各層の議員が情報・意見交換を行い、必要な連携を図り、男女共同参画に関する国民的な取組を推進するため、平成8年9月3日に発足しました。

連携会議は今夏より新たな議員を迎 え、新体制をスタートさせました。有識 者議員として、明石伸子氏(日本マナ ー・プロトコール協会理事長)、天野篤 氏(順天堂大学大学院医学研究科心臓血 管外科学教授)、飯田降氏(弁護士・宏 和法律事務所代表)、石井美恵子氏(北 里大学看護学部臨床看護学准教授)、犬 塚協太氏(静岡県立大学男女共同参画推 進センター長・国際関係学部教授)、上 林千恵子氏(法政大学社会学部教授)、 徳倉康之氏(ファザーリング・ジャパン 事務局長)、元村有希子氏(毎日新聞科 学環境部編集委員)、渡邉光一郎氏(第 一生命保険株式会社代表取締役社長) の 9名が新たに参加、計18名が就任してい ます。また、全国規模で活動している各 界各層の団体から推薦された議員も、新 たに3つの団体 (IEEE Japan Council Women In Engineering、21世紀職業財 団、日本アパレル・ファッション産業協 会)から加わり、95名によって構成され ることとなりました。

【第32回全体会議の開催】

平成25年9月13日(金)、三田共用会議 所(東京・港区)にて、第32回全体会議 が開催され、森 内閣府特命担当大臣 (男女共同参画)が出席しました。

会議冒頭、森大臣の挨拶においては、 9月に行われたフランス訪問及びAPEC 女性と経済フォーラム2013 (インドネシ ア)への出席の成果報告が行われ、女性 の活躍促進を成長戦略の中核に位置づけ て推進する我が国の取組が、諸外国からも注目を集めていることが紹介されました。そして、雇用分野に限らずあらゆる分野において、男女共同参画推進の取組強化・加速化に政府が力を注ぐことへの決意とともに、「連携会議議員の皆様も、分野・職域の垣根を越えて知識・ノウハウの共有を行い、男女共同参画推進の機運を高めて欲しい」との期待が述べられました。

続いて議事に入り、まず、議長に大日 向雅美氏(恵泉女学園大学大学院平和学 研究科教授)が、副議長に羽入佐和子氏 (国立大学法人お茶の水女子大学学長) が、議員互選により就任されました。

次に、平成24年度の活動状況に関する 2つの報告が行われました。一つは、男 女共同参画推進に関する個別具体的な課 題解決のため、連携会議内に小グループ (チーム) を組織し、具体的・積極的な 取組を行うチーム活動について、成果報 告が行われました。「国際的に連携した 女性のエンパワーメント促進」チームか らは、石川康晴氏(株式会社クロスカン パニー代表取締役社長)より、国連グロ ーバルコンパクトとUN Womenが作成 した「女性のエンパワーメント原則 (WEPs) | を国内の企業経営者等に周知 し、女性の活躍を促進する活動を行った 結果、日本企業のWEPs署名数が147社 から202社(9月現在)に増加したこと、 また、署名企業が自己点検するチェック ツール「WEPs問診票」をチームで開発 し、現在運用を行っていることが報告さ れました。続いて、「ワーク・ライフ・ バランスの取組推進 | チームからは、千 代田有子氏(弁護士)より、各団体の課 題認識と取組について報告を行い、ワー ルドカフェ方式によるメンバー間の意見



会議冒頭で挨拶する森大臣





大日向雅美議長、羽入佐和子副議長



新規参加3団体より団体の紹介



全体会議の模様



共催事業:「地球社会を共に生きる〜子どものまなざしから考える ワーク・ライフ・バランス〜」 (平成25年9月30日、静岡市)



共催事業:「女性の活躍で未来を拓く 〜多様なキャリア形成による経済社会 の活性化〜」

(平成25年10月11日、岡山市)



共催事業:「女性の活躍で変わる、変える、これからの中小企業」 (平成25年10月28日、福岡市)

交換を重ねた結果、ワーク・ライフ・バランスの認識が向上した、団体の中の新たな取組につながった、といった成果が得られたことが報告されました。

二つ目は、男女共同参画の課題に関連 したシンポジウム等の開催を、内閣府・ 連携会議・連携会議構成団体等との共催 事業として実施する「国・地方連携会議 ネットワークを活用した男女共同参画推 進事業」(以下「共催事業」) について報 告されました。平成24年度は全11団体と の共催事業が行われましたが、この日 は、12月以降に実施された事業主催の6 団体(全国母子寡婦福祉団体協議会、日 本ヒーブ協議会、日本助産師会、国際女 性教育振興会、UN Women 日本国内委 員会、日本青年団協議会)から、それぞ れの活動結果、及び各課題解決のために 事業実施を通して得られた成果の発表が 行われました。団体・地域の特色を活か して具体的なテーマに沿った共催事業を 行うこと、また、その成果を全議員で共 有・活用することで、男女共同参画に関 する課題解決・推進が一層進むことが今 後も期待されます。

また、会議では、連携会議の今後2年間の活動方針について決定されました。 共催事業は、企画提案と周知の可能性を 広げる観点から、主催する団体を複数化 し、連携強化を経た企画・運営を行うこ ととされました。これまでと同様に、事 業終了後の結果・成果の検証を丁寧に行 うことにより、共催団体相互の活動活性 化・恒常的な連携促進を目指す事業目的 も、改めて確認されました。平成25年度 は、全国6都市・9事業を行うことが決定 しています(表を参照)。

チーム活動は、平成24年度の2チームの活動で好結果が得られたことから、組織するチームを以下の3つに拡大し、今後新たにメンバー編成を行った上で活動開始することとされました。

- (1)「国際的に連携した女性のエンパ ワーメント促進」チーム(継続)
- (2)「女性の起業ビジネスコンテスト 展開」チーム
- (3)「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組推進」チーム

連携会議では、政府の施策や国際的な 動きなどをもとに、今後も男女共同参画 社会の実現に向けた取組を具体的・積極 的に推進していきます。

表 平成25年度「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」(共催事業) 実施予定

	主催団体(連携会議構成団体のみ)	タイトル	日時	場所
1	一般社団法人国際女性教育振興会		平成25年 9月30日(月) 13時~	静岡県男女共同参画センターあざれあ (静岡県静岡市)
2	国際ゾンタ26地区、 公益社団法人ガールスカウト日本連盟		平成25年 10月11日(金) 13時30分~	岡山コンベンションセンター (岡山県岡山市)
3	福岡県中小企業家同友会、 中小企業家同友会全国協議会	女性活躍推進を考えるシンポジウムin福岡〜女性の活躍で変わる、変える、 これからの中小企業	平成25年 10月28日 (月) 13時~	電気ビルみらいホール (福岡県福岡市)
4	婦人国際平和自由連盟(WILPF)日本支部	再チャレンジを目指す女性のための『学びなおし教育』	平成25年 12月6日(金) 13時~	文京シビックセンタースカイホール (東京都文京区)
(5)	NPO法人UN Women日本国内委員会、 公益社団法人経済同友会	女性はもっと活躍できる!〜WEPsが変える仕事の未来	平成25年 12月16日 (月) 13時~	女性就業支援センター (東京都港区)
6	公立大学法人奈良県立医科大学		平成26年 1月11日 (土) 10時~	奈良県文化会館(奈良県奈良市)
7		企業×女性起業家×学生の出会いで社会を活性化!「ビジネスにも運命の赤い 糸ってあるんです」〜WEPs(女性のエンパワーメント原則)の実現に向けて〜	平成26年 1月22日 (水) 13時~	渋谷ヒカリエ (東京都渋谷区)
8	日本女性科学者の会		平成26年 2月2日(日)12時~	コラッセふくしま (福島県福島市)
9		女性技術者のエンパワーメント推進に関するシンポジウム「女性技術者登 用による産業競争力強化を目指して」	平成26年 2月12日(水)13時~	一橋講堂(東京都千代田区)



男女共同参画社会の形成の促進に関する施策に ついての苦情内容等及び男女共同参画に関する 人権侵害事案の被害者の救済制度等について

内閣府男女共同参画局調杳課

男女共同参画局では、毎年度、男女共同参画に関する施策についての苦情処理及び人権侵害事案に対する対応等について、各府省、都道府県及び政令指定都市の担当窓口を通じて情報を収集し、これらを取りまとめの上、男女共同参画会議監視専門調査会に報告しています。

今年度は、9月5日に開催された同調査会に報告しましたので、その概要を以下のとおり御紹介します。

1 男女共同参画社会の形成の 促進に関する施策についての 苦情内容等について

○調査対象の苦情

- ・国や地方公共団体が実施する法律、 条例に基づく制度や公費を投入する 施策の在り方、これらの制度・施策 の運用を含む業務運営の在り方につ いてのもの
- ・人権侵害事案に関連する国民・住民 からの苦情(不平、不満、提案、要 望、意見等)のうち、男女共同参画 に関する施策についての苦情に該当 するもの
- ○苦情の処理件数(平成24年度中に処理 を行ったもの、又は、同年度末におい て未処理のもの。延べ件数)
 - 国:485件
 - 地方公共団体:58件
- ○都道府県・政令指定都市における苦情 処理体制等の整備状況(平成25年4月1 日現在)
 - 全ての都道府県・政令指定都市(67 自治体)で体制が整備済。
 - ・男女共同参画に関する事案のみを取り扱う第三者機関を設置:25自治体
 - 専従担当者:常勤9人、非常勤98人。

表1 国に寄せられた苦情処理件数(平成24年度)

(延べ数)

	カテゴリ別内訳	総務省	各省庁 窓 口	計
1	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大	8	5	13
2	男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見 直し、意識の改革	37	54	91
3	男性、子どもにとっての男女共同参画	7	4	11
4	雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の 確保	24	11	35
5	男女の仕事と生活の調和	5	11	16
6	活力ある農山漁村の実現に向けた男女共同参画	0	2	2
7	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援	18	9	27
8	高齢者、障害者、外国人等が安心して暮らせる環 境の整備	36	4	40
9	女性に対するあらゆる暴力の根絶	90	34	124
10	生涯を通じた女性の健康支援	3	3	6
11	男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実	8	10	18
12	科学技術・学術分野における男女共同参画	0	1	1
13	メディアにおける男女共同参画の推進	0	6	6
14	地域、防災・環境その他の分野における男女共同 参画の推進	6	6	12
15	国際規範の尊重と国際社会の「平等・開発・平和」 への貢献	1	21	22
16	その他(男女共同参画の総合的な推進等)	42	19	61
	計	285	200 (185) %	485

※()内の数字は、複数カテゴリに該当する苦情の重複計上を除いた数

表2 都道府県・政令指定都市に寄せられた苦情処理件数 (平成24年度) _(延べ数)

	カテゴリ別内訳	都道府県・ 政令指定都市
1	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大	3
2	男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の 改革	10
3	男性、子どもにとっての男女共同参画	5
4	雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保	0
5	男女の仕事と生活の調和	0
6	活力ある農山漁村の実現に向けた男女共同参画の推進	0
7	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援	0
8	高齢者、障害者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備	0
9	女性に対するあらゆる暴力の根絶	6
10	生涯を通じた女性の健康支援	0
11	男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の 充実	0
12	科学技術・学術分野における男女共同参画	0
13	メディアにおける男女共同参画の推進	9
14	地域、防災・環境その他の分野における男女共同参画の推進	3
15	国際規範の尊重と国際社会の「平等・開発・平和」への貢献	0
16	その他(男女共同参画の総合的な推進等)	22
	計	58

表3 法務省の人権擁護機関が取り扱った女性に関する人権相談等の件数

	女性の人権 ホットライン	女性を被害者とする 人権相談件数	女性を被害者とする 人権侵犯事件数
平成19年	22,569	12,651	4,419
平成20年	23,997	12,701	4,462 (2)
平成21年	23,426	11,428	3,942
平成22年	23,289	10,823	3,714 (3)
平成23年	22,008	10,886	3,796
平成24年	21,720	10,424	3,423 (1)

^{※ ()} 内の数字は、公務員によるもの。

表4 都道府県・政令指定都市における人権侵害相談等件数

(延べ数)

	行政による 人権侵害	配偶者等からの暴力	セクシュア ル・ハラス メント	性被害	その他男女 共同参画に 関する人権 侵害
平成19年度	55	78,460	5,219	345	4,985
平成20年度	12	84,772	3,056	497	15,927
平成21年度	40	91,778	2,847	228	14,005
平成22年度	3	89,430	2,830	240	14,417
平成23年度	12	97,583	3,253	330	6,005
平成24年度	12	104,282	2,625	599	6,595



2 男女共同参画に関する人権 侵害事案の被害者の救済制度 等について

- ○法務省の人権擁護機関が取り扱った女性に関する人権相談等の件数(平成24年)
 - 女性の人権ホットライン: 21,720件
 - 女性を被害者とする主な人権相談の 件数:10,424件
 - 女性を被害者とする主な人権侵犯事 件の数: 3.423件
- ○都道府県・政令指定都市における人権 侵害相談等の件数(平成24年度、延べ 件数)
 - 行政による人権侵害:12件
 - 配偶者からの暴力: 104,282件
 - セクシュアル・ハラスメント: 2,625件
 - 性被害:599件
 - その他男女共同参画に関する人権侵害:6.595件
- ○都道府県・政令指定都市における人権 侵害に関する相談・被害者救済の体制 等の整備状況(平成25年4月1日現在)
 - 全ての都道府県・政令指定都市(67 自治体)で体制が整備済。
 - 男女共同参画に関する事案のみを取り扱う第三者機関を設置:18自治体
 - 専従担当者:常勤323人、非常勤814人。
- ※調査結果の詳細は、男女共同参画局の HPを御覧ください。

http://www.gender.go.jp/kaigi/senmon/kansi_senmon/21/pdf/shiryo_03.pdf



世界経済フォーラムが 「ジェンダー・ギャップ 指数2013」を公表

内閣府男女共同参画局総務課

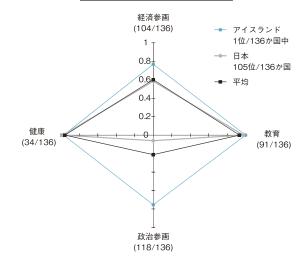
世界経済フォーラム(World Economic Forum)が平成25年10月、「The Global Gender Gap Report 2013」において、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数(Gender Gap Index:GGI)を発表し、日本は136カ国中105位でした(2012年は135カ国中101位)。本指数は、経済分野、教育分野、政治分野及び保健分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を意味しており、政治分野における女性の割合や女性管理職の割合の低さ等が我が国の順位に反映されているものと考えられます。

なお、各国における男女格差を測る主な国際的指数としては、他に国連開発計画 (UNDP) のジェンダー不平等指数 (Gender Inequality Index: GII) があります。平成25年3月に「人間開発報告書2013」で発表された日本の順位は、145カ国中21位となっています。本指数は、保健分野、エンパワーメント、労働市場の3つの側面から構成されており、日本の順位は、日本が優位な妊産婦死亡率などの指標が評価された結果と考えられます。

ジェンダー・ギャップ指数(2013) 主な国の順位

順位		围	名		値
1	ア	イス	ラン	ド	0.8731
2	フ	ィン	ラン	ド	0.8421
3	1	ルウ	7 エ	_	0.8417
4	ス	ウェ	ーデ		0.8129
5	フ	1 1	ノピ	ン	0.7832
6	ア	イル	ラン	ド	0.7823
7	= =	ュージ	ーラン	ノド	0.7799
8	デ	ンマ	7 —	ク	0.7779
9	ス	1	,	ス	0.7736
10	=	カラ	, グ	ア	0.7715
11	ベ	ル	ギ	_	0.7684
-					1
13	オ	ラ	ン	ダ	0.7608
14	ド	1	,	ツ	0.7583
18	英			玉	0.7440
10	大			当	0.7440
20	カ		_	ダ	0.7425
1					i
23	米			玉	0.7392
45	フ	ラ	ン	ス	0.7000
45				^	0.7089
61			,	ア	0.6983
69	中			玉	0.6908
71	1	タ	IJ	ア	0.6885
/ 1	1	· ·	.))	0.0000
105	日			本	0.6498

ジェンダー・ギャップ指数 (2013) 各分野の日本の順位と比較



男女共同参画の視点からの防災・復興の取組事例⑤

男女共同参画センターを活かした広域避難者のつながりづくり(埼玉県) 内閣府男女共同参画局総務課

東日本大震災での経験

東日本大震災において、発災5日目の 平成23年3月16日に、埼玉県がさいたま スーパーアリーナを広域避難者を受け入 れる大規模避難所に指定し、主に福島県 からの避難者の受入れが始まりました。

埼玉県男女共同参画推進センター(以 下「センター」という。)は、さいたまス ーパーアリーナから徒歩5分のところに 位置することから、センターのボランテ ィアスタッフ等から声が上がり、アリー ナに避難してきた避難者に、センター内 のシャワー室及び休憩所を提供すること にしました。シャワー室の提供をきっか けに、ボランティアスタッフの手によっ て、女性用物資の提供や子どもの遊び場 づくりなども行われました。

アリーナでの避難者の受入れが終了す る3月末までの2週間で、約1.200人の避難 者がセンターを利用し、その運営には、 多くのボランティアが関わりました。

避難所閉鎖後も避難者への支援を継続

避難所閉鎖後も避難者への支援を継続 したいとの思いから、センターのボラン ティアと協働し、広域避難者の集いの場 を企画し、平成23年9月から、月に2回定 期的に、センターの和室を会場とした避 難者交流の場「さいがい・つながりカフ エ を開催しています。

運営は、ボランティアによる実行委員 会形式で行うこととし、センターのボラ ンティアスタッフが代表となりました。 センターは、場所の提供をはじめ、スタ ッフによる活動の側面支援や、広報協力 を行っています。

活動費については、平成23~24年度は 特定非営利活動法人全国女性会館協議会 による東日本大震災女性センターネット ワーク募金事業の助成を、25年度はコー

プみらい市民活動助成金を受けています。

様々な「つながり」を生み出す

カフェは、その時々でアロママッサー ジやお茶、化粧など様々な特技を有する ボランティアが参加し、広域避難者同士 の交流を促進しています。

平成25年11月現在、50歳代以上の女性 を中心に毎回約15~20人が参加してお り、夫婦での参加も見られます。また、 親戚のもとに避難してきた方で、今年に なって人づてにカフェを知り、震災後は じめて、同郷の人と会うことができた方 もいました。カフェは、避難者同士の交 流のみならず、避難者と支援者、支援者 同士の交流の場にもなっています。

参加者からは、「知らない地域に来て知 らない人ばかりの中で、カフェのことを 知り、ようやく人と話すことができたし、 「先行きが見えない不安など積もりに積 もっていたものが、カフェに来て話すこ とで気持ちが切り替わり、この後のこと が考えられるようになった」といった声 が聞かれました。一方、避難生活が長期 化するなかで、体調を崩される方やふさ ぎこみがちになるという声も聞かれまし

現在では、埼玉県内の他の男女共同参 画センター等でも避難者交流会が開かれ るようになり、それらの横のつながりに よる支援者同士の情報交換会が、被災者 や民間の支援グループによって開かれる ようになりました。

男女共同参画センターの役割

避難生活が長期化するなかで、避難者 の方が安心して集う場は重要です。男女 共同参画センターは、場の提供、情報発 信、支援グループや支援者間を結び付け その力の発揮を支援する機能等の役割を 果たしています。



「さいがい・つながりカフェ」の様子

さいがい・つながりカフェ

<月2回 木曜日>

主催:さいがい・つながりカフェ実行 委員会

場所:埼玉県男女共同参画推進センタ

-ほか

URL: http://www.withyou-saitama.jp/ view.rbz?cd=598

男女共同参画は、日本の希望⑧ 増えないフルタイム共働き、減り続ける小遣い

中央大学・教授 山田 昌弘

前回、夫婦ともフルタイム共働きの家 計は余裕があり、高額商品消費が活発な のに、同じ共働きでも、妻が非正規雇用 では、教育費を除けば片働き家庭と消費 実態は変わらないことを示しました。

共働き家庭が増えていると言われてい ます。確かに、既婚女性の就労率は上昇 しています。しかし、その中味をみる と、増えたのは、妻がパートなど非正規 雇用の就労であって、フルタイム同士の 共働きは増えていません。表1をみても 分かるように、フルタイムで働く既婚女 性の比率は、年齢によってほとんど変わ らず、15%前後です。確かに、1985年に 男女雇用機会均等法が成立し、育児休業 も整備されて、出産後も働き続ける環境 が整いました。しかし、1990年代は、女 性の職場進出が進むと共に、「非正規化」 も同時に進んだのです。更に、少子化の 影響で、新卒教員の採用数が減ります。 民間企業で正社員として働き続ける環境 が整っても、そもそも正社員や正規の教 員として働いている女性の数が減ったの です。だから、フルタイムで働く既婚女 性比率がもっとも高いのは、50代前半 (2009年時点)で、その三分の一以上が 教員と公務員なのです。教員や公務員は 昔から、既婚女性が働き続けやすい職場 でした。民間で結婚、出産後も正社員と して働き続ける女性が増える中、教員や 公務員で働く女性の数が減ったので、結 果的に効果がオフセットされて、フルタ イム共働き率は若い世代で増えていない のです。

現役男性の収入は、ここ20年の間にほ とんど増えず減少傾向にあります。その 中で、教育費や住宅ローンなどの支出が 増え、家計を維持するために、パート等 非正規で働きに出る既婚女性が増えただ けともいえます。だから、共働きは増え ても家計消費は活発化せずに、マクロ経 済の内需拡大にはほとんど貢献しなかっ たのです。

そして、この20年の経済停滞によって 最も打撃を受けたのは、実は、家計を支 え続けている夫たる男性だったのです。 前々回、男性の雇用が不安定化し、結婚 相手として選ばれにくい男性が増えてい ることが少子化をもたらしていることを 示しました。結婚後も男性の受難が続き ます。それは、小遣い額に端的に表れま す。新生銀行(旧日本長期信用銀行)が サラリーマンの小遣い額調査をほぼ毎年 行っています (表2、註1)。それによる と、1991年の平均小遣い額は月額76000 円と最高を記録しました。しかし、バブ ル経済崩壊以降、減少傾向が続き、2005 年には、約4万円となり、最新の2013年 には、3万8457円と、1991年のほぼ半額 となっています。これには、昼食代も含 んでいるので、それ以外の支出の減少率 は大変なものです。学生にこの額を示し たところ、ある学生は、「私がバイトで 稼いだ小遣い額より少ない」と言ってい

これも、男性一人の収入で生活を支え るという実態の結果であることは間違い ありません。前回見たように、消費支出 の中で小遣いが含まれる「その他」項目 の額は、妻フルタイム共働き94403円、 専業主婦62294円と3万円以上の開きがあ ります。その3万円が夫の小遣いに全部 回るとは限りませんが、妻がフルタイム 就労の場合、夫の小遣い額が相当増えま す。女性の経済的活躍が、夫のためにな ることは間違いないのです。



やまだ・まさひろ/東京大学文学部卒業。東京学芸大学教授を経て、2008年より現職。専門 は家族社会学・感情社会学・ジェンダー論。子ども・若者・夫婦・家族を取り巻く現状を多 角的に解析して打開策を提言し続け、パラサイトシングル、婚活、格差社会などという言葉 を作り出した社会学者。男女共同参画会議民間議員等の公職を歴任し、現在、男女共同参画 会議専門委員、日本学術会議連携会員。

表1 年齢別核家族の妻の就業率

我!					
	就業率	(正規雇用率)	正規雇用 のうち官 公庁割合		
20未満	12.2	(-)			
20-24	40.0	(16.2)	14.8		
25-29	42.6	(15.8)	18.6		
30-34	43.5	(15.4)	24.9		
35-39	48.4	(14.7)	31.2		
40-44	59.1	(14.6)	31.1		
45-49	63.9	(15.8)	25.5		
50-54	63.4	(16.8)	35.8		
55-69	55.3	(13.6)	29.1		
平均	45.6	(15.2)			

総務省統計研修所 平成23年度共同研究 報告会資料-全国消費実態調査(2009年) の個票を山田と苫米地伸・東京学芸大学 准教授で再集計したもの

表2 新生銀行調査ーサラリーマンの 平均小遣い額

- 1985年 50,700円
- 1991年 76.000円
- 1995年 58,700円
- 2000年 60,300円 • 2005年 40.600円
- 2010年 40,600円 • 2011年 36,500円
- 2012年 39,600円
- 2013年 38,457円
- 註1 調査対象のサラリーマンには、未婚 者や女性も含まれるが、各調査、対 象者の大部分が、既婚男性であるた め、このデータを用いた。
 - ・因みに、2013年は、既婚者は、 30,996円、未婚者は、46,175円 である。



[News & Information]

1 News

内閣府

「男女共同参画フォーラム in さいたま」開催報告



11月9日、"女性の輝きが未来を拓く"を基本テーマに、さいたま市との共催による「男女共同参画フォーラム in さいたま」を開催しました。

主催者挨拶、内閣府から男

女共同参画の現状等について報告した後、佐々木かをり氏 (株式会社ユニカルインターナショナル代表取締役社長、株 式会社イー・ウーマン代表取締役社長)による基調講演 「女と男 ワンランクステップアップの働き方・暮らし方」 を行いました。

続くパネルディスカッションでは、「女性が輝くために何が必要か」をテーマに、コーディネーターの大崎麻子氏(ジェンダー・開発政策専門家)の進行で、田代美江子氏(埼玉大学教育学部教授)、夏野剛氏(慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科特別招聘教授)、矢澤澄子氏(さいたま市男女共同参画推進協議会会長)の3名のパネリストにご登壇いただきました。各パネリストには、それぞれの専門的立場から、女性が社会で輝くために行政や企業が取り組むべき役割について活発な意見交換が行われ、最後に、男女共同参画を進める上で、「男性も当事者として関わることが大切」とのコーディネーターの言葉で締めくくりました。

2 News

内閣府

男女共同参画宣言都市奨励事業(阿見町)開催報告



11月10日、茨城県阿見町に おいて、内閣府との共催で男 女共同参画宣言都市奨励事業 「阿見町男女共同参画宣言都市 記念式典」が開催されました。 オープニングは、心洗われ

る極上のピアノ三重奏に会場が酔い感動の渦に包まれました。式典では、参加者全員による男女共同参画都市宣言文の群読が行われ、男女共同参画社会の推進に町を挙げて取り組むことを誓いました。また、内閣府からの情勢報告、男女共同参画に関する作文・標語・ポスター・推進歌コンクール入賞者表彰式を行いました。そして、推進歌が町内コーラスのすばらしい歌声により初披露されました。

そして、記念講演では、テレビでお馴染みの杉尾秀哉さんが「男女共同参画社会実現の先に~私たちの暮らしはどう変わるのか~」と題し、テレビ界の話やご自身の経験を交えた男女共同参画の話など、これからの男女共同参画社会実現の先にどう変わるのかをユーモアたっぷりに熱く語っていただきました。

このほか、ホールにおいて阿見町男女共同参画推進活動・ 地域女性団体による活動・阿見町の観光・予科練記念館等 展示を行いました。 3 News

内閣府

男女共同参画宣言都市奨励事業(苫小牧市)開催報告



11月17日(日)、北海道苫小 牧市において、内閣府との共 催により男女共同参画宣言都 市奨励事業「苫小牧市男女平 等参画宣言都市記念式典」が 開催されました。

オープニングは、苫小牧市民合唱団が苫小牧の自然や苫 小牧発展の基礎を築いた八王子千人同心をしのぶ混声合唱 組曲「勇払原野」を合唱し、華やかな開幕となりました。

式典では、内閣府からの情勢報告として男女共同参画の 現状や取組等の報告のあと、男女平等参画啓発標語の入賞 者表彰が行われました。そして北海道で初めてとなった都 市宣言では、主催者、来賓を含め各世代の市民もステージ に上がり、市長が会場の参加者を先導して男女平等参画都 市宣言文を群読し、男女平等参画社会の実現を目指し決意 を新たにして取り組んでいくことを誓い合いました。

続いての記念講演では、神奈川大学特別招聘教授(元宮城県知事)の浅野史郎氏が「男女平等参画社会とは~自分らしい生き方を大切に~」と題し、男女平等を成長戦略、少子化対策などの視点からとらえ、基本的人権を尊重した差別をしないノーマライゼーションの社会づくりを強調されるなど、分かりやすく語っていただきました。

4 News

国立女性教育会館(NWEC)

「企業を成長に導く女性活躍促進セミナー」 実施報告



10月18日(金)~19日(土)の 二日間の日程で開催し、47名 の方が参加しました。オープ ニングセッションでは内海房 子理事長のコーディネートで 浦野光人ニチレイ相談役、武

石恵美子法政大学キャリアデザイン学部教授をゲストに迎え、「今、女性の活躍を促進するために何が求められているのか?」をテーマに議論しました。

基調講演では、井手明子らでいっしゅぼーや株式会社代表取締役社長から「女性リーダーに求められるもの」として①手本となる女性を探す②自分ではできないと怯む必要はない③上司の役割は「部下が力を発揮できるように支援すること」と学ぶこと等の提案がありました。

ワークショップでは、グループに分かれ、リーダーシップをとる際に必要なコミュニケーション手法(アクションラーニング)を学び、NWECからの情報提供では統計データを用いた国際比較や、女性の活躍推進の現状と課題の解説がありました。情報交流会は、参加者同士による情報交換やネットワークづくりの場となりました。



[News & Information]

5 News

国立女性教育会館(NWEC)

アジア太平洋地域における男女共同参画 推進官・リーダーセミナー」実施報告



9月26日(木)~10月5日(土) の日程で、「男性にとっての 男女共同参画」をテーマとし て開催しました。

カンボジア・モンゴル・フ ィリピン・タイ・ベトナムの

5ヵ国から9名が参加しました。研修では、研修生の自国に おける最新の男女共同参画に関する政策や男性の参画を推 進するにあたっての課題を共有しました。また、内閣府男 女共同参画局並びに文部科学省、京都市男女共同参画セン ター(ウイングス京都)等を訪問しました。特にウイング ス京都では、同センターが実施した男性向け講座や男性相 談についての講義を受講し、各国における育児休業制度や 日本におけるDVの実態について活発な質疑応答が行われま した。

今回の研修では、国立女性教育会館のネットワークを活 用したプログラムが組まれ、国における施策から地域にお ける取組まで、日本の男女共同参画の推進について様々な 視点から理解を深めました。

6 Info

国立女性教育会館(NWEC)

「女子学生キャリア形成セミナー」参加者募集

国立女性教育会館では、短期大学女子学生を対象とした キャリア教育プログラムをもとに開発した、4年制大学の女 子学生を対象としたプログラムに基づき、セミナーを開催 します。

「キャリアを考えることは、人生を考えること」という主 題のもと、講義やパネルディスカッション、グループワー クを通して、社会の中で自分の能力を発揮していくキャリ ア形成の考え方や多様性 (ダイバーシティ) の概念を学び ます。また、将来、社会の様々な分野において、女性リー ダーとして活躍することを視野に入れたキャリア形成のあ り方について考えます。

期日:平成25年12月20日(金)~21日(土)1泊2日

会場:国立女性教育会館

対象:女子大学生50名(協賛大学以外の学生も参加可能)

共催:リーダーシップ111

協賛:お茶の水女子大学、昭和女子大学、津田塾大学、東 京女子大学、日本女子大学、早稲田大学、関西大学 詳細や申込は、http://www.nwec.jp/をご覧ください。

Info

内閣府

国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業の開催

内閣府男女共同参画局では、男女共同参画推進連携会議、同会議構成団体等とともに、男女共同参画に関する理解を深めるため に、全国各地でシンポジウム等を開催します。

○女性はもっと活躍できる!~WEPsが変える仕事の未来

主催:内閣府、男女共同参画推進連携会議、公益社団法人経 済同友会、NPO法人国連ウィメン日本協会

日時:12月16日(月)13時より

場所:女性就業支援センター(東京都港区)

※基調講演「男性リーダーと共にジェンダー平等を」

エリザベス・ブロデリック氏(オーストラリア連邦政府性 差別担当コミッショナー)

※パネルディスカッション「企業と仕事の未来~WEPsが日 本企業を変える!」

参加無料、お申込は→https://www.omc.co.jp/weps/

○企業×女性起業家×学生の出会いで社会を活性化! 「ビジネスにも運命の赤い糸ってあるんです」

主催:内閣府、男女共同参画推進連携会議、お茶の水女子大学、 一般社団法人神奈川ニュービジネス協議会、J300実行委員会

日時:1月22日(水)13時より

場所:渋谷ヒカリエ8階「8/」(東京都渋谷区)

プログラム:企業と女性起業家の先進的取引事例を紹介する トークセッションとともに、実際に女性起業家がビジネス 提案を行い、コラボレーションを模索する「現場」を目の 前で。予約不要・参加自由です(お席の予約は、事前登録 が必要→http://j300.net/2013/form)。

○女子中高生の医理系進路選択支援~医理系の研究って、すっごくおもしろい!

主催:内閣府、男女共同参画推進連携会議、公立大学法人奈 良県立医科大学、一般社団法人奈良県医師会、一般社 団法人大学女性協会奈良支部

日時:1月11日(土)10時より 場所:奈良県文化会館(奈良市)

<午前の部>

①講演「私の進んできた道、そしてこれから」

大林千穂氏(奈良県立医科大学病理診断学講座 教授) 森本恵子氏(奈良女子大学研究院生活環境科学系 教授)

②パネル討論「女性が医理系分野で研究するには」

<午後の部> サイエンスカフェ

6つのグループに分かれ、それぞれのテーブルでリーダーを 中心に自由に議論します。

参加無料、お申込→http://www.telepac.jp/narascience/

男女共同参画センターだより

News From Center

福岡市男女共同参画推進センター・アミカス

福岡市市民局男女共同参画部事業推進課

福岡市男女共同参画推進センター(愛称:アミカス)は、男女共同参画を推進する拠点施設として、昭和63(1988)年11月2日に、当時、九州で初めての女性センターとして誕生し(当時の名称は福岡市女性センター)、今年の11月で25周年を迎えました。

愛称の「アミカス」は、 公募により決定したもの で、ラテン語の「友だち・ 仲間」を意味する「amicus (アミークス)」をもとにし

はかに、女性の起業支アミカス記念祭☆2013 養老孟司援セミナー講演会「型にはまらない生き方」

や再就職を支援するセミナーなどの女性の就労支援するセミナーなどの女性の就労支援。 座、また、男性カレッジ男性を対象にした講座など、男性を対象にした様々な事業を担める。 施しています。また、男性を通してはなる事業のでは、 神震会を行う市民グルー市民グループ活動支援事業」を実施し、市民との連携・共働を進めています。

図書室では、市内の図書館とシステム連携し、それ

ぞれ本の予約・貸出・返却ができます。また、市内では唯一、平日と土曜日は21時30分まで開館しているため、勤め帰りにも利用でき、利用者には大変好評です。

相談室では、総合相談・ 法律相談・DV相談ダイヤル・男性のための相談ホットラインを開設し、人間関係や生き方などの相談を年間5千件近く受けています。また、「法律講座(離婚)」や、「DV講座(女性対象)」を定期的に実施しています。

アミカス記念祭 2013

こともあり、養老孟司さんの講演会、地元で活躍するロックバンドのライブやジャズコンサート、映画上映会のほか、市民グループによる発表展示や、地元の商店街組合さんの協賛によるお楽しみ抽選会など盛りだくさんの内容となりました。

これからもアミカスは、 地域に根ざした、男女共同 参画推進の拠点施設として、魅力ある事業を展開し て参ります。

編集後記

今月号の「主な予定」欄の中に、内閣府・男女共同 参画推進連携会議と各団体 のパートナーシップにより 全国各地で開催する様々な シンポジウムがあります。

シンポジウムは、来年2月までいろいろなテーマにより、全国5か所で開催する予定です。

それぞれの事業への参加 募集案内は、内容が固まり 次第、ホームページに掲載 しますので、ご覧いただき、 ふるってご参加くださいま すようお願いいたします。

また、内閣府と地方公共 団体で共催する「男女共同 参画宣言都市奨励事業」が あります。こちらも、ホー ムページでご案内しており ます。

(編集デスク K.K)

【12月号表紙】

イラストレーション/ 平田利之

「問題解決のピースは未 来の科学者に託されていま す。」

Kyodo-Sankaku

月刊総合情報誌 「共同参画」12月号

http://www.gender.go.jp http://www.facebook.com/ danjokyodosankaku/

第63号●2013年12月10日発行編集・発行●内閣府 〒100-8914

東京都千代田区永田町1-6-1 内閣府男女共同参画局総務課 電話◎03-5253-2111 (代) 印刷◎日昇印刷株式会社

『理工チャレンジ(略称:リコチャレ)』新ロゴデザイン



~女子高校生・女子学生の理工系分野への選択~

辻本真友さん(21歳・大学生)の作品

「女子学生の理工系分野への選択を応援している」ということが一目見 てすぐ分かるようなロゴを目指して、「シンプルで落ち着いた可愛さ」を テーマにデザインしました。

また、固いイメージを持たれないように文字を手書きにすることで全体 に温かい雰囲気を持たせました。

男女共同参画局の「チャレンジ・キャンペーン」サイトは、 『理工チャレンジ(リコチャレ)』にリニューアルします!

内閣府男女共同参画局では、「チャレンジ・キャンペーン」というホーム ページで、理工系分野に興味がある女子高校生・学生たちが、将来の自分を 明確にイメージして進路選択できるよう、理工系分野が充実している大学・ 企業の取組や、理工系分野で活躍する女性を紹介しています。

平成26年3月頃に、「理工チャレンジ(略称:リコチャレ)」としてホー ムページをリニューアルする予定です。辻本さんに作っていただいた新しい ロゴデザインを一つの芽として、今後の「リコチャレ」をより豊かなものに していきますので、お楽しみに!

「チャレンジ・キャンペーン」サイトはこちら

http://www.gender.go.jp/c-challenge





『理工チャレンジ(リコチャレ)』 イメージキャラクター

「理工チャレンジ」新ロゴデザイン

